

令和6年大船渡市教育委員会第9回定例会会議録

1 日 時

令和6年9月24日（火） 午後2時から午後4時45分まで

2 場 所

大船渡市役所 教育委員会会議室

3 出席委員の氏名

教 育 長	小 松 伸 也
教 育 長 職 務 代 理 者	柏 崎 正 明
委 員	村 谷 志 保
委 員	鈴 木 晴 紀
委 員	清 水 恵 子

4 説明等のため出席した職員

教育次長兼教育総務課長	伊 藤 真紀子
学 校 教 育 課 長	佐 藤 和 生

5 議 事

議案第1号 令和6年大船渡市議会第3回定例会に追加提案する、教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案の作成に係る臨時専決処理に関し承認を求めることについて

6 報告事項

（教育長）

①大船渡市教育委員会委員の任命について

（教育長職務代理人）

①わたしの主張気仙地区大会の受賞者について

（教育次長兼教育総務課長）

①大船渡中学校及び末崎中学校統合後の遠距離通学支援に係る保護者説明会（2回目）の実施結果について

②「猪川観音長谷寺絵馬群」の岩手県有形文化財指定に係る岩手県文化財保護審議会の答申について

③令和6年度大船渡市立博物館教育普及事業 体験学習「釣針づくり体験会」の実施について

（学校教育課長）

①第3回市内小・中学校長会議の開催結果について

7 会議の概要

（教育長）

- ・令和6年大船渡市教育委員会第9回定例会の開会を宣言する。
- ・令和6年第8回定例会の会議録について、質問、意見を求めた結果、教育委員の承認を

得る。

- ・諸報告事項について、事務局等の説明を求める。

(教育長)

- ・口頭により報告する。

(教育長職務代理人)

- ・口頭により報告する。

(教育次長兼教育総務課長)

- ・別添資料等により報告する。

(学校教育課長)

- ・別添資料等により報告する。

(教育長)

- ・他に追加報告がないことを確認後、報告事項についての質問、意見を求める。

(教育長職務代理人)

- ・家庭でのタブレット端末接続状況は市内全体で98%となっており良好であると感じた。
昨年度と比較して接続率は上がっているのか。

(学校教育課長)

- ・昨年度よりは上がっていると思う。

(教育長職務代理人)

- ・各学校では、家庭で接続できない児童・生徒へタブレットの使い方に影響が出ないような工夫をしているのは、良い取組だと思う。

(学校教育課長)

- ・操作が分からない場合、学校と各家庭が連絡調整を取りながら、市教育委員会へも連絡をいただき、対応していく。

(教育委員)

- ・教研式NRT検査結果の偏差値平均が年々下がってきている。市では、教研式NRT検査結果の偏差値の下限値を設けていないのか。下限値があれば、親が検査結果により現況を把握できると思う。
- ・検査結果だけを見ると、全国から離れていっている印象である。全国と比べそれほど差はないのか。
- ・開かれた学校として地域の方々を巻き込み、コミュニティの中で子育てを行っていく一つの指標として活用できるのではないか。
- ・この結果を、市民の方々にわかりやすく説明できるようにしたほうが良いと思う。数値が、年々下がっており、各学校で何をしているのかと感じると思う。
- ・現在の数値は、市内の平均となっているが、市内の各学校の変化、変動が分かる数値とするべきではないか。学校の規模や取組により検査結果が出ると思うが、取組が検査結果の変化に反映されているかが判断できると思う。
- ・各学校の検査結果を提示してほしい。その資料があれば、授業参観の見るポイントが把握できるし、判断する指標の一つとなると思う。
- ・子どもたちが元気で明るく学校生活を送ることが第一条件ではあるが、確かな学力を判断する客観的な材料になると思う。

(学校教育課長)

- ・偏差値の下限は設けていない。全国平均を目指しているところではあるが、年々下がってきている。

- ・学校ごとの検査結果資料は、後日、提供する。過年度分については、検査結果が残っている年度を提供する。

(教育委員)

- ・学校統合によってどのように変わっていくか、変動が出ると思う。

(教育委員)

- ・教研式NRT検査結果をどのように分析しているのか。小学校2年生の子どもたちが、小学校5年生になってどのように変化したか分析ができる。一方で、小学校2年生時点での変化という分析もできると思う。
- ・この数字が授業の中でどのように活かされているか分からない。

(学校教育課長)

- ・基本的には、同じ子どもたちの変化を捉えている。
- ・資料内の令和6年度の中学校2年生は小学校5年生時が令和3年度で、小学校2年生時は平成30年度の数値となっている。

(教育委員)

- ・家庭の学習で活かしてほしいと、NRTの結果を学校から提供されたが、何をどう活かせばいいか理解できなかった。

(学校教育課長)

- ・面談を利用して配付したり、説明を付けて配付したりしている学校もある。

(教育委員)

- ・わかりやすく示す手段があれば、家庭での学習に有効利用できると思う。
- ・市内の学力がどのように変動しているかを知りたいので、参考として示してほしい。

(学校教育課長)

- ・各学校の配付方法を全ては把握していない。

(教育委員)

- ・先生からは、個別の学力指導に活かしていると言われるが、家庭では検査結果の活用ができていない。
- ・学校経営のために活用される数値だと思い、活用方法を詳細に聞くことはしてこなかった。
- ・子どもたちへのアンケート結果を見ると、楽しく授業を受けているという項目の数値は高く、学習意欲はある。しかし、このNRT検査結果と結び付けて考えていいかが分からない。

(教育長)

- ・全国学力・学習状況調査結果の「国語の勉強は好きですか」という質問においては、当市の小学校・中学校共に、好きと回答した子どもたちの割合が全国や岩手県よりも多い。
- ・同調査結果での、「算数（数学）の勉強は好きですか」という質問においては、当市の中学校では、好きと回答した生徒の割合は、全国や岩手県を下回っている。
- ・調査結果に、教科の好き嫌いが表れていると思う。
- ・好きな教科であれば勉強に取り組み、成績も上がるが、NRT検査結果の数値が毎年下がっているため、学校の指導が悪い、担当教科の先生の指導力が無いという評価になっている。

(教育委員)

- ・自分の経験では、参観日や三者面談では、主に学校で楽しく過ごしてるかという話が多く、学習に関する話は少ないと感じた。

(学校教育課長)

- ・NRT検査結果の活用は、教育委員会としては検査結果を市平均で分析するが、学校では、学級の平均や教科別で分析し、学校内で落ち込んだ部分を引き上げることが必要である。
- ・個人の検査結果については、面談などの場で説明することも必要である。

(教育委員)

- ・先生として勤めたことがないので、検査結果の内容が分からない。

(教育長職務代理者)

- ・小学校の時は算数が好きという子どもの割合が高く、一生懸命勉強しているが、中学校になると数学が好きという割合は半数以下になる。
- ・中学生になると、小学校の時よりも学習量が多くなり、進むスピードも速くなるため、授業についていけない子どもがいる。理解できなくなり、その結果、数学が好きではなくなり、勉強に身が入らなくなり、数値が落ちていくのだろう。
- ・中学校1年生の時に、小学校で学習したことを踏まえながら、基礎・基本を定着させることを大事にすべきである。そうでなければ、中学校1年生でつまずき、さらに理解できなくなり、結果として勉強しなくなっていくと思う。

(教育委員)

- ・全体的な傾向の考察にもあるが、小学校段階でのつまずきが中学校へも影響していると思う。
- ・市での小学校の取組は、2年生と5年生が該当しているが、各学校では、おそらく全学年で取り組んでいると思う。
- ・小学校5、6年生になると、かなり難しい問題となり、子どもたちは、どのように勉強していいか悩み始める。
- ・上位の子どもは理解していくが、下位の子どもは理解できなくなっていく、中学校の学習に影響が出てくると感じた。

(学校教育課長)

- ・共通しているのは、特に算数・数学で、つまずきが積み重なっていると思う。
- ・結果にはまだ結びついていないが、校種間連携ということで、学校によっては、小学校6年生に中学校の先生が授業する取組を行っている。また、授業の形式の引継ぎも始まるなど、対応は進んでいると思う。

(教育委員)

- ・大船渡市の課題が見えてきたと思う。
- ・就学前の子どもが小学校へ入学する時は、国でも様々な取組が行われているが、小学校6年生が中学校へ入学する時の国の取組はあるのか。

(学校教育課長)

- ・以前から小中連携があり現在も取り組んでいる。また、新たに幼保小連携の取組も始まっている。

(教育委員)

- ・それでも足りないと感じる。

(学校教育課長)

- ・連携では、学力も含まれているが、生活習慣や通学への慣れ、生徒指導の面がメインとなっている。
- ・学習内容について、落ち込んでいる部分を、小学校から中学校に伝える機会は少ないと思う。
- ・小学校と中学校で連携はしているが、結果がまだ出ていない。

(教育委員)

- ・若い世代が移住している都市では、教育に力を入れているところが多いと感じる。
- ・大船渡市でもいろいろ学べるというような、一つの魅力があるといいと思う。
- ・英語検定の助成金の取組が始まってから、英語の学力が上がってきたと感じている。数学でもこのような事業があれば、子どもたちに手厚い教育を行っていることをアピールできるのではないかな。
- ・学校ごとに取り組むことは承知しているが、市も教育に力を入れていることを前面に推しだせるようなプロジェクトに取り組むといいと思う。

(教育長職務代理者)

- ・小学校では2年生と5年生がNRT検査を実施している。5年生の時に担任が2年生時の検査結果を確認して、教科内の苦手な分野を指導できることが理想であるが、時間的余裕がないため、できないと思う。
- ・学力分析の専門家の方々によって学校の特徴を捉えていくことができれば、小学校の段階で伸びたところや落ち込んだところなどを分析することができると思う。

(教育委員)

- ・学力育成プランに基づいた、1学期の取組の評価を見ると、各学校、昨年、一昨年よりもかなりレベルアップしていると感じた。
- ・今後は、電子黒板やタブレットなどICTを活用した授業がより一層多くなってくると思うが、板書も有効に活用して欲しいと思った。

(学校教育課長)

- ・教師主導と板書等については、指導主事が先生に指導助言し、対話しながら改善を図っており、取組を継続していきたい。

(教育長)

- ・委員からの発言もあったが、魅力的な教育が提供されているとか、学力向上がなされていけば、人が集まると思う。
- ・大槌や葛巻では、県外からの留学生を誘致している。
- ・成績を上げるには、基礎・基本や原則について、続けて取り組ませることである。
- ・県教育委員会でも、研修等で先生の指導力向上には取り組んでいる。
- ・部活が地域移行になるので、先生は学力向上を一番に考えてほしい。

(教育委員)

- ・ゆとり教育で一時的に授業量が減少したが、良い成果が出なかったため、授業量は元に戻った。
- ・教科書の中から選択し、どのような力をつけるかということが教育のねらいであり、教科書の内容を全て教えても力はつかないと思う。
- ・ある学校の授業研究活性化の中で、どのように授業をするかではなく、児童にどんな力がついたかを協議しているとのことであったが、そのとおりだと思う。
- ・楽しい授業をすれば子どもたちは喜ぶけれども、わかる授業をしなければ力はつかないと感じている。

(教育委員)

- ・先生方は、授業以外の業務も多数あるので、子どもたちに向き合う時間が少なくなる。多忙化の解消対策に取り組み始めているが、そのことが、今後、成績上昇などわかりやすい結果として表れるといいと思っている。
- ・今の状況は、取組が点となっている。様々な取組をし、努力はしているが、繋がりが薄

いように感じる。

- ・市の教育の具体的な将来像のようなものがあるとわかりやすくなると思う。
- ・市内の子どもたちに今足りないものとか、教育現場での足りないものを示し、市教育委員会で力を入れている点について、市民に分かりやすく広報していく活動が必要になると思う。
- ・力を入れる点のヒントは沢山あると思う。

(教育長)

- ・先生方の業務が多いことは確かである。
- ・子どもたちのために一生懸命取り組めば、学力も部活動の成績も上がると思う。

(教育委員)

- ・一般の人と先生の仕事量は変わらないと思う。
- ・以前は、子どもたちに対して、すごく時間をかけたが、現在は、そういう時代ではなくなっている。以前と同じようなシステムなので、物事が進まなくなっているように感じる。

(学校教育課長)

- ・様々な影響があると思うが、生徒指導面などに時間が割かれていると感じる。

(教育委員)

- ・マンパワーと仕事量は以前と一緒で、仕事の時間だけ減らすとしても、今までと同じシステムでは成り立たないのではないかと。
- ・本当に多忙化が解消されるのかを整理していかないと、結果が伴わずに時間だけが過ぎていくという不安があり、そのような一つ一つが繋がらない状態で、市内の子どもたちの学力が向上するのか疑問である。

(教育委員)

- ・保護者も、自分の子どもが今どれくらい勉強に取り組んで、どの程度の習熟度があるのかを知る必要がある。
- ・学校へ関心のある保護者もいれば、関心のない保護者もいると思う。それは、保護者の責任ではなく、家庭環境や、経済面などの生活の不安定さが影響していると感じることが多い。
- ・教育だけで解決できない課題も多いと感じる。
- ・分からない子に教えるのはすごく大変だと感じている。
- ・様々な課題は、市全体の問題であると思う。

(教育長職務代理者)

- ・以前は、N R T検査結果によっては、子どもと保護者から了承を得て、放課後に勉強をすることもあった。
- ・現在は、生徒指導の問題や様々な業務により、先生方が時間を取れなくなっている。

(教育委員)

- ・スクールバス利用の子どもは、先生と話す時間は少ないと感じている。
- ・先生たちに無理がかかってしまうのであれば、大きく変えていかなければならないと思うが、国の問題もあると思う。
- ・教育に対する課題がはっきりと見えている。事業費や人員で対応できる限度はあるが、市で取り組めることがあると思う。
- ・問題がはっきりしてくれば、対策を考えることはできるため、大船渡市はどのような対策を行うか考え始める時期であると思う。

- ・問題解決は、教育委員会のみでは難しいので、他部署と共通で取り組めることを模索する時期であると思う。

(教育委員)

- ・資料では、授業と連動した家庭学習に取り組まない子どもが固定化している。

(学校教育課長)

- ・放課後に時間が取れないため、休み時間に補充的に学習させている場合もあると聞いている。スクールバスによる時間的制約は大きいと感じる。

(教育委員)

- ・地域のコミュニティが作られているので、保護者を巻き込んで、いい方向に向かうよう、具体的な目標があると取り組みやすいと思う。ただし、学力を目標とすることが地域として良いのかは分からない。

(教育長職務代理人)

- ・放課後に学校に残って学習させてもいいと考える保護者もいると思う。地域の中で教える役割の人たちをお願いすることも可能になってくると思う。

(教育長)

- ・各学校の特色ある教育方針を大事にしたいので、市で一様に統一することは難しい。
- ・各学校では、取り組む分野を学びフェストとして数値化している。目標値をしっかり示し、学校一丸となって取組を行うようになってきている。
- ・子どもたちと接する時間を作り出していくためには、1日の休み時間を短くするなど工夫が必要である。
- ・年間行事は厳選されてきている。
- ・落ち着いた学級経営により、問題行動を起こす子が少なく、落ち着いてる学校の成績は上がる。

(教育委員)

- ・スクールバスに試験的に乗車して登校するという試みは、すごくいいと感じた。
- ・冬季間にも実施してほしい。
- ・末崎中学校の生徒は、大船渡中学校の校舎に初めて通学するので、通行に慣れておらず、冬場に転倒の危険があると感じた。

(教育次長兼教育総務課長)

- ・スクールバスで通学することに不安を抱えている保護者がいたことから、試験的な乗車を実施することとした。
- ・当初、冬季間は、魚市場付近で降車させ、徒歩で学校まで向かうルート設定としていた。保護者からの意見により、国道付近で降車させ、国道を横断しないルートについても検討している。
- ・子ども達が徒歩で、降車地から学校まで通学する所要時間等の検証が必要と考えている。具体的な方法は未定であるが、冬季間にも実施したいと思う。
- ・スクールバスの運行に係る業務は未契約であるため、試験乗車については、契約後に受託業者と調整したい。受託業者が対応できなければ、市のマイクロバスを使用しての実施を検討する。

(教育長)

- ・その他、質問、意見、追加報告がないことを確認し、諸報告を終了する。

(教育長)

- ・開議を宣言する。
- ・日程第1、会期の決定について、会期を1日とする。

(教育長)

- ・日程第2、議案第1号について説明を求める

(教育次長兼教育総務課長)

- ・議案第1号 令和6年大船渡市議会第3回定例会に追加提案する、教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案の作成に係る臨時専決処理に関し承認を求めることについて、説明する。

(教育長)

- ・議案第1号について、質問、意見を求める。

(教育長職務代理者)

- ・例えば、教師用指導書だけでいくらか。

(教育次長兼教育総務課長)

- ・教師用指導書は、今回の契約では約3,100万円である。
- ・その他に別契約で、教師用教科書を60万円ほどで購入している。

(教育長職務代理者)

- ・細目の指導書というのは教科書指導書か。

(教育次長兼教育総務課長)

- ・そのとおりである。

(教育長職務代理者)

- ・指導資料というのは、具体的に何か。

(学校教育課長)

- ・CDなど様々な付属資料をまとめて、指導資料と呼んでいる。

(教育次長兼教育総務課長)

- ・市議会の議案資料に記載の契約の相手方は、教科書に沿った指導書、教科書供給業者の管内取り次ぎ供給所限定で販売されるものであるので、1者随契となっている。
- ・その他の販売者が限定されていないものは、競争入札により最低価格を示した業者から購入している。
- ・指導書の価格は、4年前と比べると価格が上がっており、1冊当たりの単価が1万円を超えるものもある。

(教育長)

- ・他に質問、意見がないことを確認後、議案第1号について諮る。
- ・全員異議がなく議案第1号を原案とおり承認する。

(教育長)

- ・その他、質問・意見、追加議案がないことを確認後、議案審議を終了する。
- ・令和6年大船渡市教育委員会第9回定例会の閉会を宣言する。

会議録作成者 教育長 小 松 伸 也

会議録署名者 教育長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員